

2025年12月24日

株式会社新日本科学

<https://snbl.com>

(証券コード:2395 東証プライム)

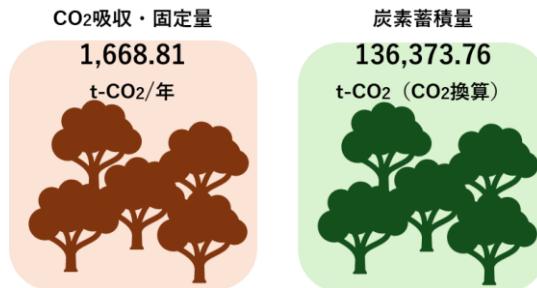
新日本科学が鹿児島県指宿市の社有林における CO₂吸收・固定量と炭素蓄積量の第三者評価を実施 ～一般家庭約5万世帯・1年分のCO₂排出量相当の炭素蓄積を確認～

株式会社新日本科学（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一）は、鹿児島県指宿市に保有する社有林において毎年約1,669トンのCO₂を吸收・固定するとともに、森林全体としてこれまでに約13.6万トンのCO₂を蓄積していることを第三者評価を通じて確認しました。

当社は、鹿児島県指宿市に約337ヘクタールの森林を保有しており、地域の森林組合と連携しながら、適切な森林整備および保全活動を継続的に実施しています。こうした取組みの成果を客観的かつ定量的に把握するため、この度、自然資本の評価や環境・サステナビリティ分野において豊富な実績を有する専門業者に対し、当社社有林におけるCO₂吸收・固定量および炭素蓄積量の評価を委託しました。

評価は、森林の面積や樹種、成長状況などをまとめた公式な森林データや、国が公表している温室効果ガス排出量の算定方法・係数を基に実施されました。その結果、当社の社有林全体における年間のCO₂吸收・固定量は約1,669トンと算定されました。

また、社有林全体において、樹木の成長を通じて2025年12月時点までに蓄積されているCO₂量は累計約13.6万トンであり、これは一般家庭約5万世帯が1年間に排出するCO₂量に相当します（環境省「令和4年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査」をもとに当社試算）。



調査報告書は[こちら](#)

森林は、CO₂の吸收・固定機能に加え、水源涵養、土砂流出防止、生物多様性保全など、多様な公益的機能を有しています。当社は今後も、「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」と掲げた企業理念のもと、地域の森林組合との連携を通じて社有林の適切な保全・管理を継続し、経済的利益と社会的利益の一体的な創出に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)新日本科学 IR広報統括部

TEL: 03-5565-6216

E-mail: ir@snbl.com